

掲載しきれないイベントの写真などは、糸満市の「フェイスブック」「インスタグラム」「ライン」に掲載しています。



\\ であいふれあいわかちあい //

OKINAWA ミニバレーフェスティバル

全 国のミニバレー愛好者が一堂に会し、第29回全国シニアミニバレー大会・第27回OKINAWAミニバレーフェスティバルが西崎総合体育館で行われ、北海道をはじめとして全国から合計55チームが参加しました。沖縄県ミニバレー協会理事長の玉城幸喜さんは「コロナ禍の影響も残っている状況で県外から25チームが参加してもらい、大会を無事開催することができてよかったです。ミニバレーは、年齢問わずバレーの醍醐味を誰でも気軽に体験できるので、今後も生涯スポーツとして普及できるように取り組んでいきたいです」と話しました。



とれたて いとれぼ

\\ ゲームを作って学ぶ //

親子プログラミング体験講座

プログラミング教材を使って簡単なゲームを作成し、プログラミング的思考を高めることを目的に、親子プログラミング体験講座が小学校3年~中学校1年とその親子を対象に開催されました。講座には合計71人の親子が参加し、「サメを釣らずにマグロを釣る」ゲームを作るための手順を講師から説明を受けました。子どもたち一人一人が実際にパソコンに触れながら、ゲームを完成させると保護者からは驚きの声があり、子どもたちも笑顔になるなど、親子で楽しめるプログラミング講座になりました。



\\ 糸満、サッカーも熱い!! //

FC西崎は九州大会へ、FCなんぶは全国大会へ

J A共済カップ第36回沖縄県U11サッカー大会で2年ぶりの優勝をしたFC西崎が優勝および九州大会派遣報告を、糸満市の選手が7人所属するFCなんぶは、4年連続九州大会出場およびこれまでの戦績が評価され、第12回びわ湖カップなでしこサッカー大会U12への派遣が決定したことから、それぞれ喜びを報告するため市役所を訪れました。FC西崎の久米瑞輝君は「先輩たちが九州大会で取れなかった1勝を達成したいです。チーム一丸となって全

国大会へ行けるよう頑張ります」と、FCなんぶの近江茉莉さんは「九州大会ではいつもと違う経験ができました。全国大会では練習の成果を発揮して得点を取れるように頑張ります」と話しました。報告を受けた当銘市長は「日頃の頑張りが成果となっていると思います。サッカーができる環境に感謝しながら、高い目標に向かって体調管理にも気を付けながら頑張ってください。沖縄から九州大会、全国大会を応援しています」と激励しました。



\\ 平敷さんの「ロマン」が受賞 //

第5回ジョン万賞決定

ジョン万次郎を偲び国際的な芸術人材を育成することなどを目的とした「第5回ジョン万賞」の作品お披露目式が2月4日に行われました。お披露目式では、沖縄県立芸術大学教育補助専門員の平敷傑さんの作品「ロマン」が披露されました。平敷さんは「今後10年、50年と残る作品になると思うので、大度浜を訪れた人に作品に対する想いを伝えていきたい」と話しました。



\\ 糸満がいっぱい詰まった物産展 //

糸満フェアが3年ぶりに開催

糸 満市の地場産品などを市内外の人に知ってもらうことを目的とする糸満フェアが2月4日、5日道の駅いとまんで開催され、糸満市の特産品や姉妹都市・友好都市の特産品を求めて多くの人々が来場しました。大抽選会でキハダマグロを引き当てた後藤碧仁君は「お寿司、からあげにして食べたい」と話しました。

